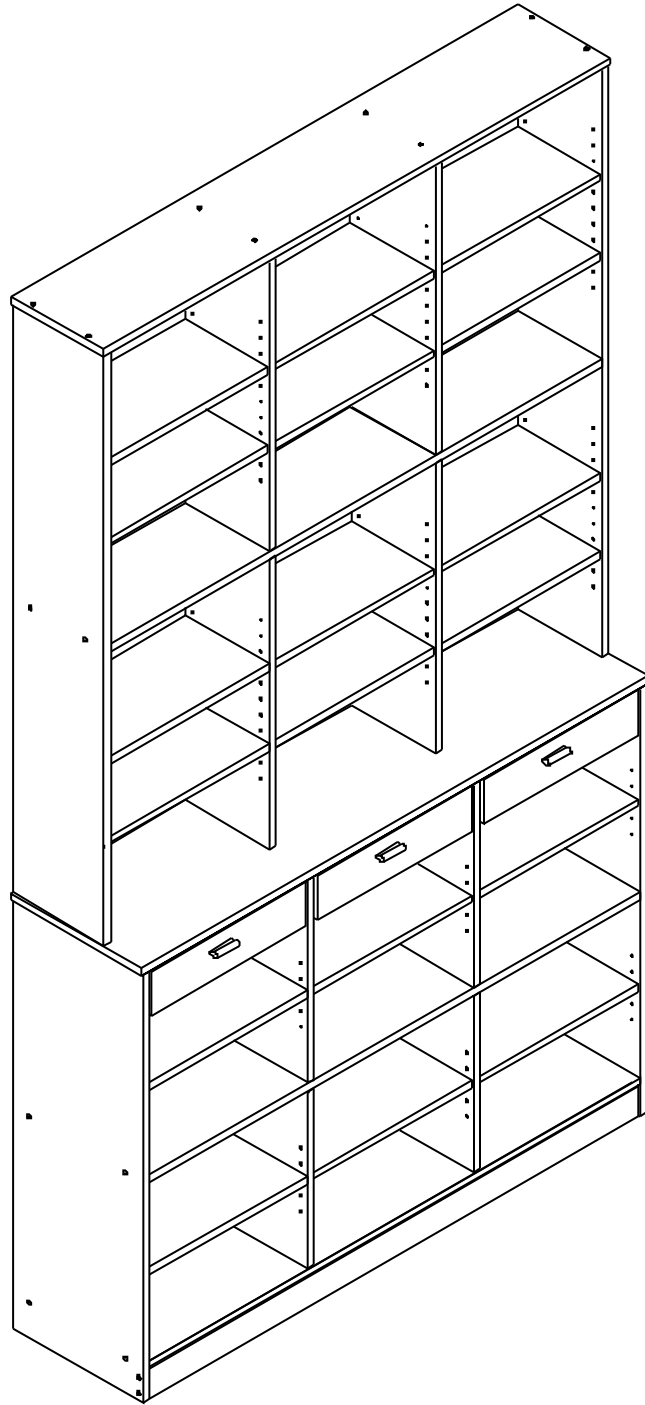


# 引出し付120cm幅 書棚 ETD-120

## 取扱・組立説明書

H2851 ver.1



この度は当商品をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。  
ご使用前に、この取扱・組立説明書を最後までお読みの上、正しい使い方でご愛用下さい。  
なお、この説明書はいつまでもご覧頂けるように大切に保管して頂きますようお願い申し上げます。

## 組立て前に必ずよくお読み下さい。

### ● ご準備頂くもの

- ・プラス(+ )ドライバー
- ・はさみ、またはカッターナイフ
- ・少し大きめのダンボール、またはやわらかい布(タオルや布団等)

### ※ 組み立て時の注意

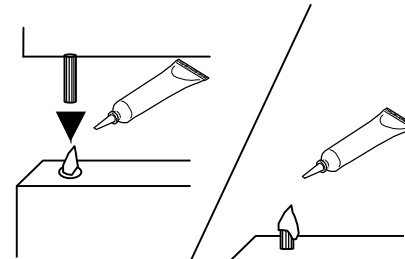
- ・安全に組み立てるために2人以上での組立をお勧めします。
- ・組み立ては平らな場所で、床などに傷がつかないようにダンボールや柔らかい布等を敷いて行ってください。
- ・最初はゆるめに組んでおき、最後に全体のバランスを見ながらしっかりとネジを締めてください。
- ・部品は正確に取り付けてください。

### ● 次の部品や小物を使用する場合は、必ず下記の要領を守って正しく組立てて下さい。

#### ○ボンド・ダボ(接着について)



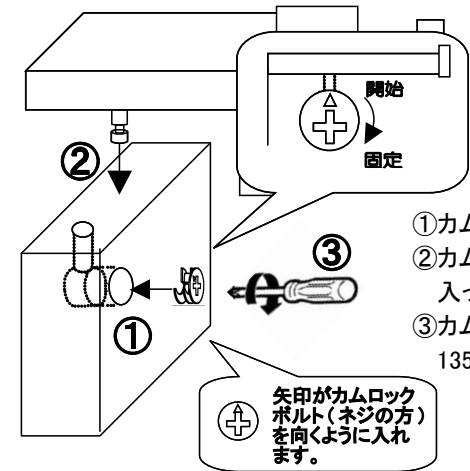
このボンドマークがあるところでは、  
下記のようにボンドを使用します。



ダボ穴に  
ボンドを垂らし、  
ダボを  
その上から  
差し込む。

ダボに直接  
ボンドを垂らし、  
穴の部分を  
かぶせて取り付ける。

#### ○カムロック受け・固定方法



- ①カムロック(受け)を穴に入れます
- ②カムロック(ボルト)を(受け)が入ってる箇所に差し込みます。
- ③カムロック(受け)をドライバーで135° ~ 180° 回してください。

矢印がカムロック  
ボルト(ネジの方)  
を向くように入  
れます。



### 使用上の注意

- 本品は屋内用です。
- 移動する際は、必ず、載せているものを全て取り除いてから引きずらないよう持ち上げて移動して下さい。収納物や商品の転倒、破損ケガの原因になります。
- 必ず水平で安定した場所に設置して下さい。
- ストープのそば等、高温多湿の場所での使用は避けて下さい。変形や変色の原因になります。
- 水分、油、洗剤等が付着した場合は、素早くふき取って下さい。
- 粘着物をはりつけると、棚板の表面がはがれる恐れがありますので、テープやシール等は貼らないで下さい。
- 天災などの不可抗力や、不当な修理、改造による故障・破損に対する補償等は致しかねます。
- ダンボール箱からの取り出しや組立は、2人以上で行って下さい。

#### 点検・お手入れについて

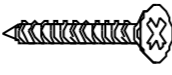






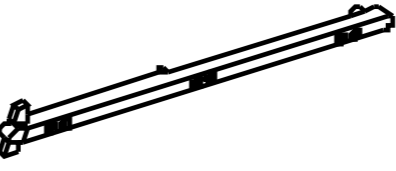

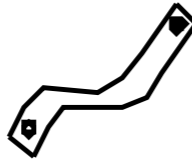

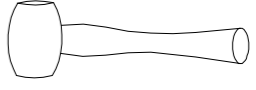
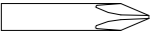
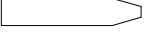
- 汚れをおとす際は、薄めた中性洗剤で拭いた後、固く絞った布等で完全に洗剤分を拭き取って下さい。水分等が残りますと後が残る恐れがあります。アルコール、ベンジン、漂白剤、みがき粉等は使用しないで下さい。
- ネジ類は、その取り付けが確実かどうか、時々点検して下さい。

製品には万全を期しておりますが、万一不都合な点がございましたら、  
ご遠慮なく右記までご連絡下さい。

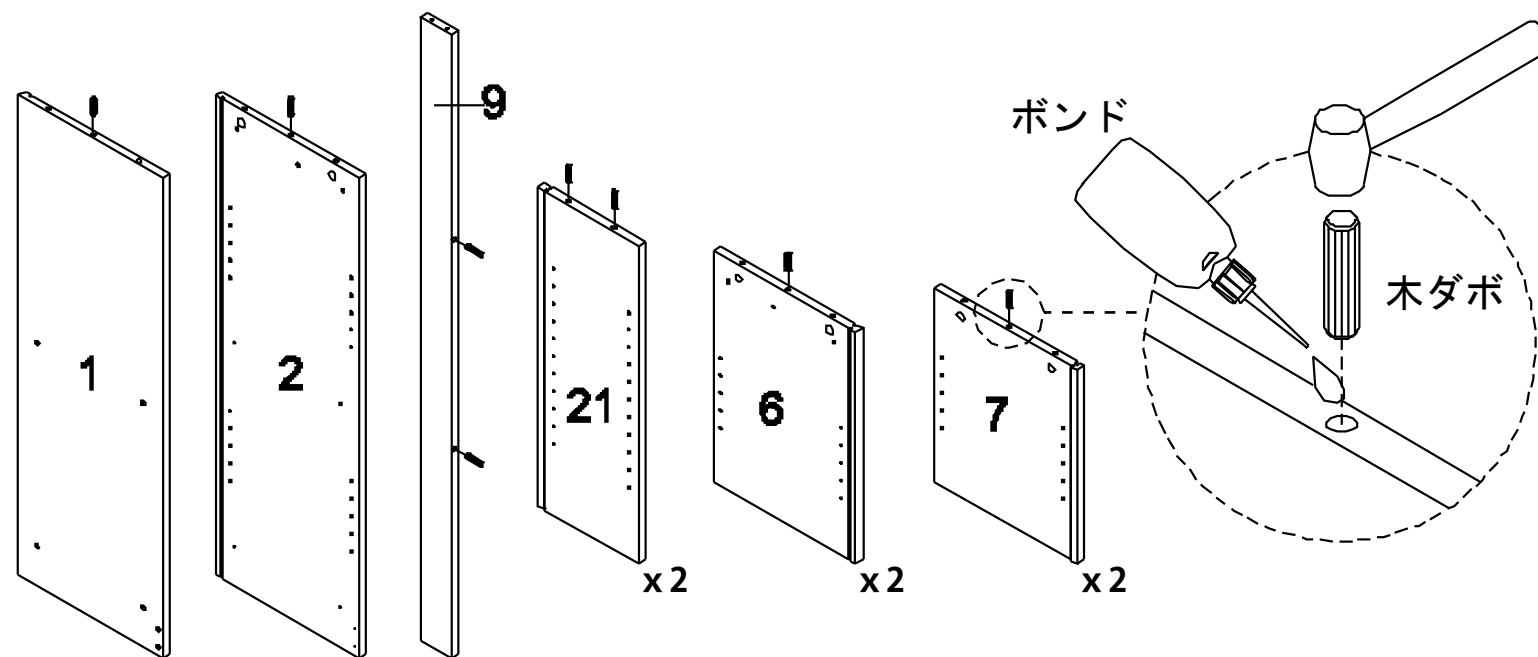
株式会社ホームテイス  
〒658-0015 神戸市東灘区本山南町8-6-26  
東神戸センタービル W棟 13F

# 部品明細

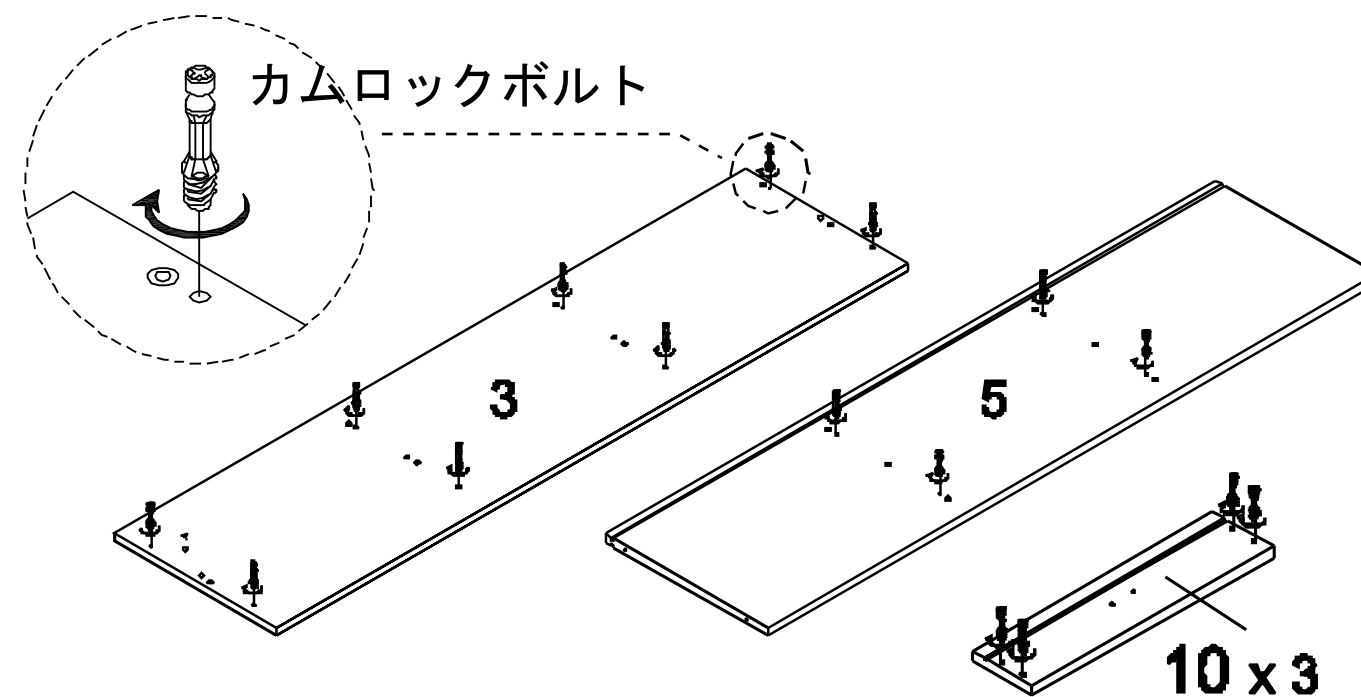
- ご購入直後は、木材のにおいを感じる場合があります。組み立て時や設置直後は、特に部屋の換気を十分に行ってください。
- 寒い冬場や暑い夏場に冷暖房を使う場合は、こまめな換気を心がけて下さい。

<p>ネジ大×56</p>  <p>#9 X 1 1/2"</p>	<p>ネジ小×30</p>  <p>M3 X 20</p>	<p>木ダボ×12</p>  <p>M6 X 25</p>	<p>棚ダボ×72</p> 	<p>カムロックボルト×24</p> 
<p>カムロック受け小×12</p> <p>12MM</p>  <p>D:12/9.5MM</p>	<p>カムロック受け大×12</p> <p>15MM</p>  <p>D:15/12.5MM</p>	<p>引出ストッパー×6</p> 	<p>プラスチックランナー×6</p> 	<p>取っ手×3</p> 
<p>取っ手用ネジ×6</p>  <p>M4 x 22mm</p>	<p>転倒防止バンド×2</p> 	<p>バンド用ネジ×2</p>  <p>M3.5 X 16</p>	<p>背板ストッパー×12</p> 	<p>ネジ隠しシール×16</p> 
<p>ボンド×1</p> 				<p>必要な工具</p>  <p>ゴムハンマー</p>   <p>ドライバー</p>

- 1 図のように、パーツ①②⑨、⑥2枚、⑦2枚、⑳2枚に木ダボをボンドを使って取り付けます。

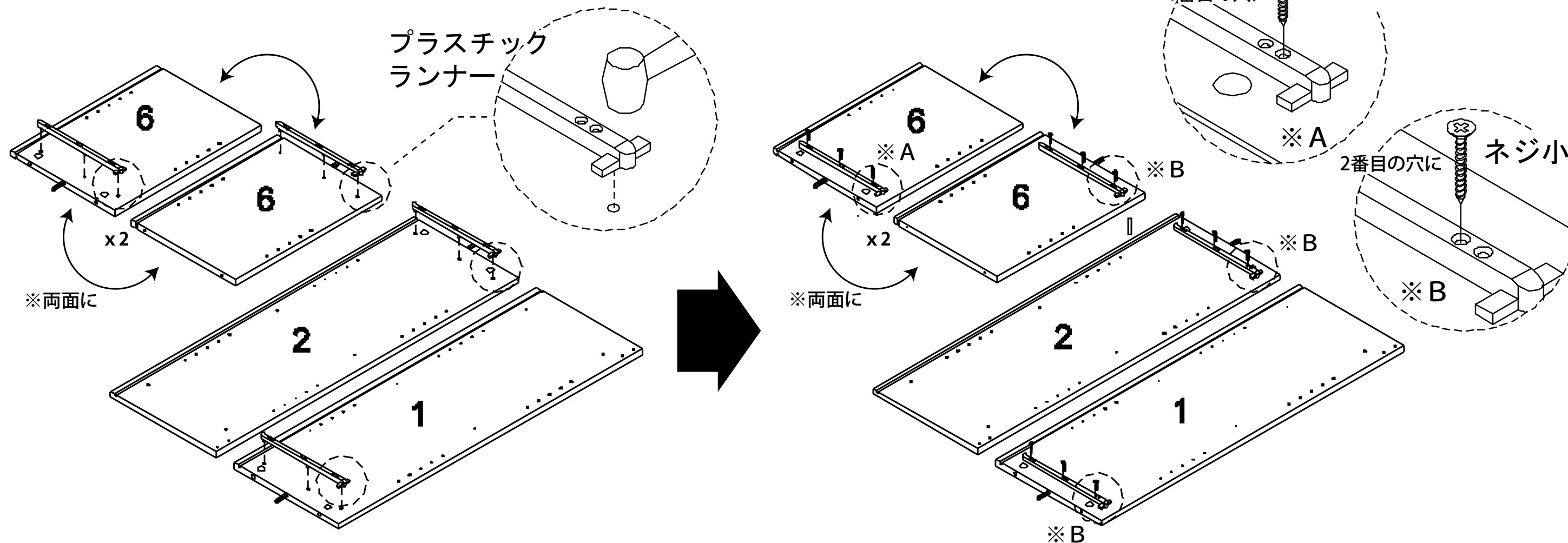


- 2 パーツ③⑤、⑩3枚に、カムロックボルトを取り付けます。



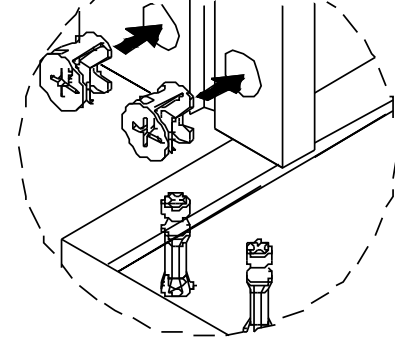
- 3 続けてパーツ⑥両面、①②にの図の箇所、プラスチックランナーをハンマーを使いしっかりと図のように取り付けます。

プラスチックランナーをネジ小で固定します。  
(各ランナーのネジ取付け箇所ご注意ください)

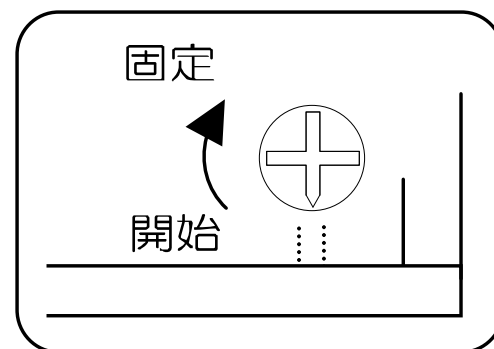
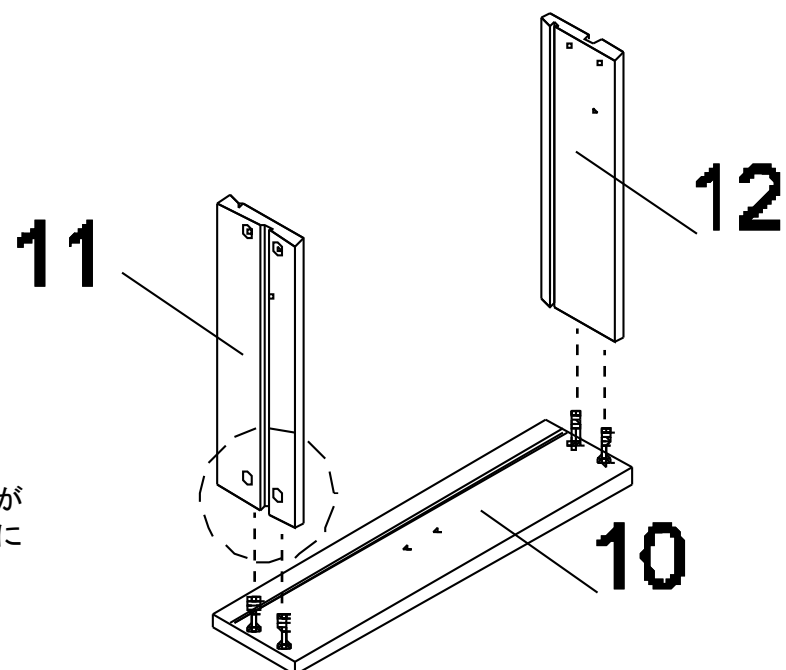


- 4 パーツ⑩に、カムロック受け小を取り付けた⑪⑫をカムロックボルトにあわせて組み合せます。(3台作成します)

カムロック受け小



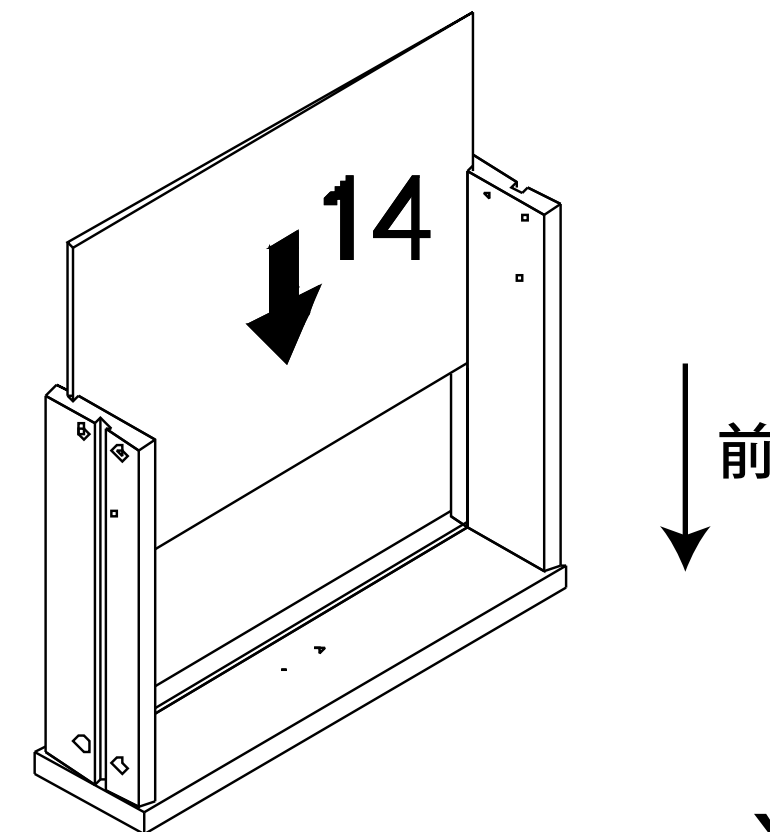
カムロック受けは、三角の目印が穴の開いている向きに来るように取り付けます。



ドライバーでカムロック受けを時計回りに締めて固定します。

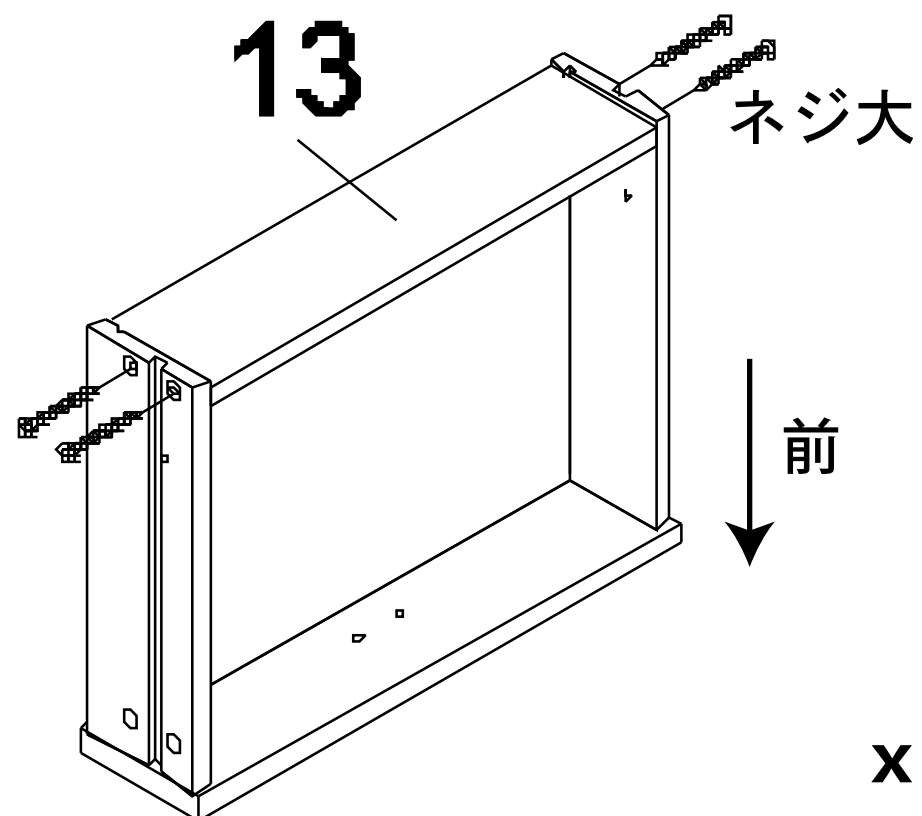
x 3

- 5 組み立てたパーツに⑭を溝にあわせてしっかりと差し込みます。(3台作成します)



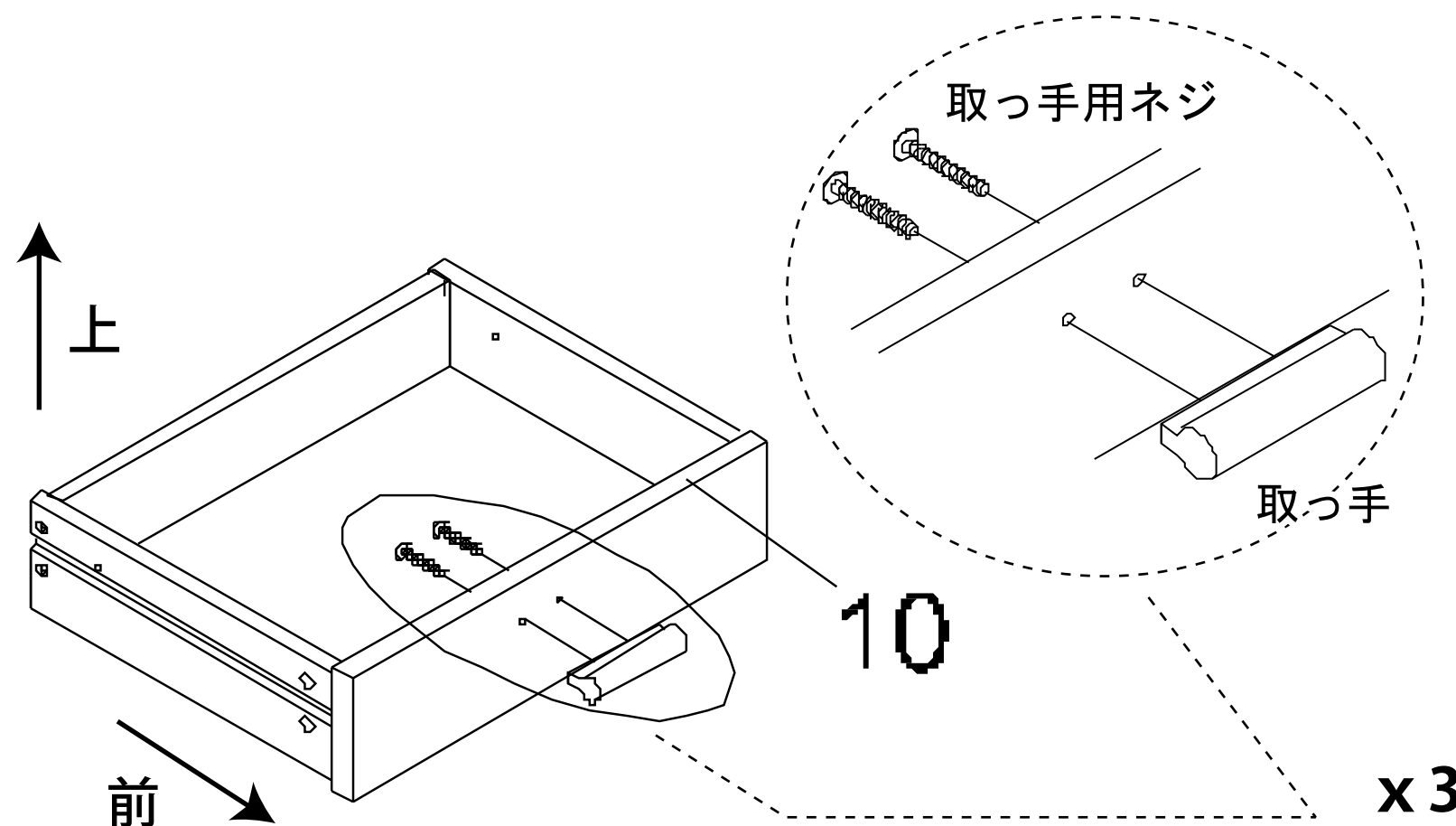
x 3

- 6 続けてパーツ⑬をネジ大を使い図のように組み合せます。(3台作成します)



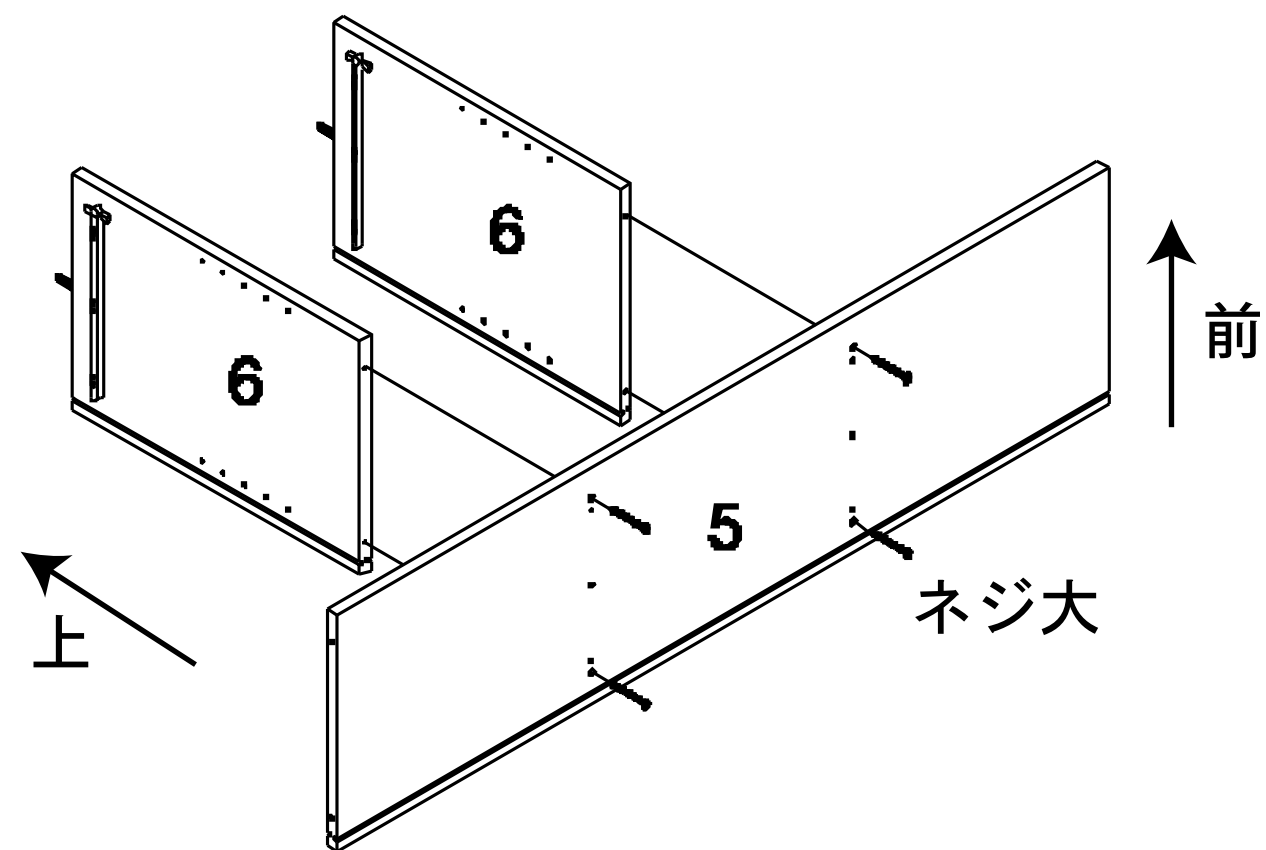
x 3

- 7 パーツ⑩に取っ手を取っ手用ネジを使い図のように取り付けます。(3台作成します)

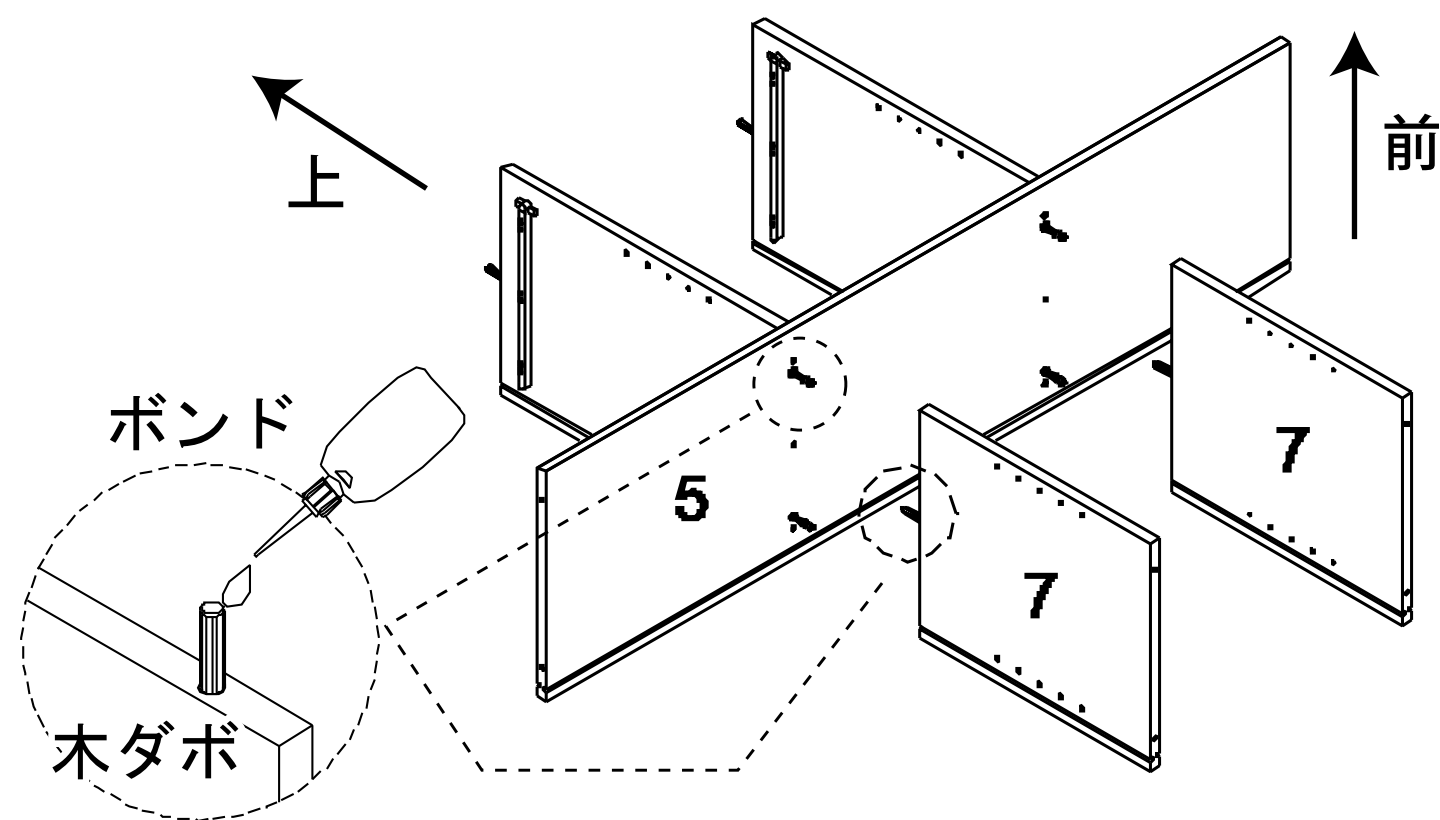


x 3

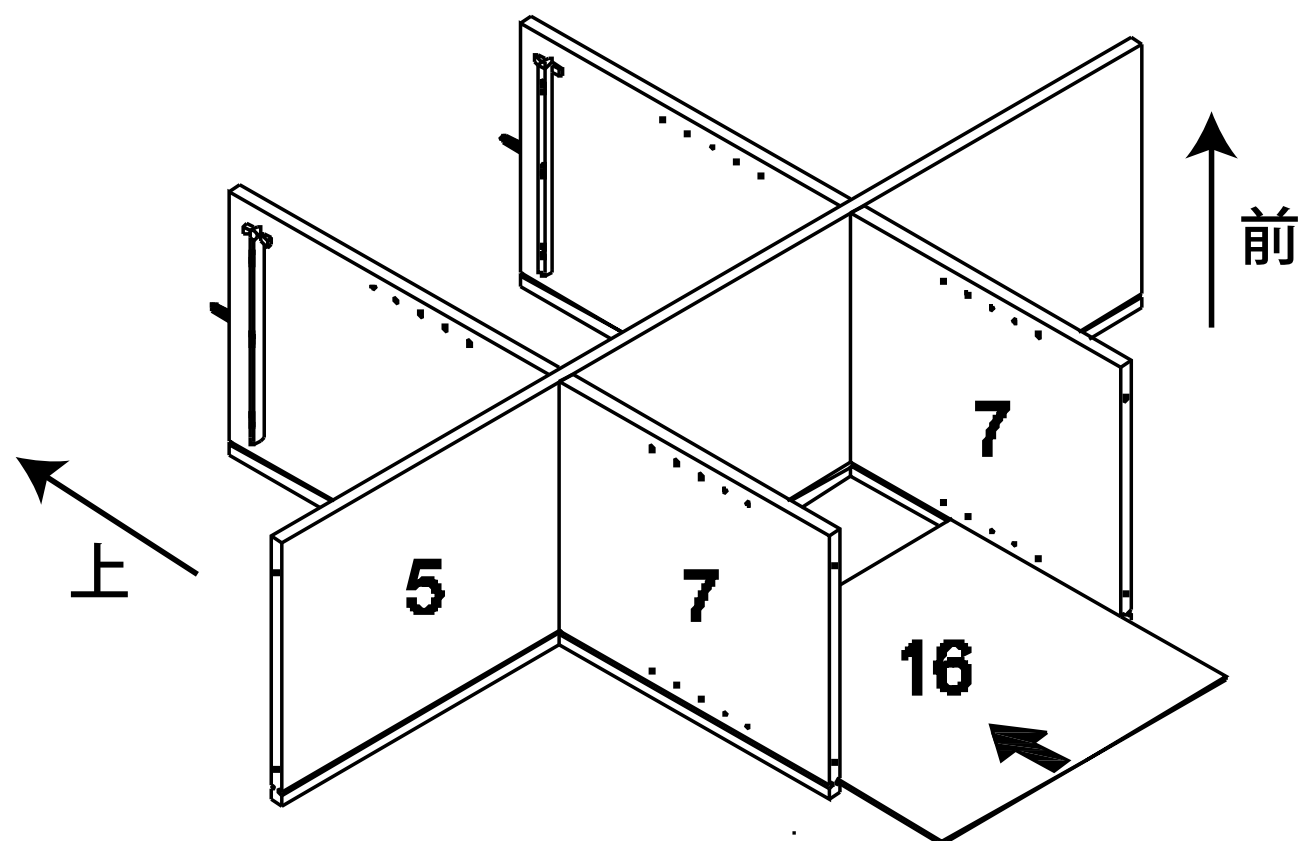
8 パーツ⑥に、⑤をネジ大を使い、図のように組み合わせます。



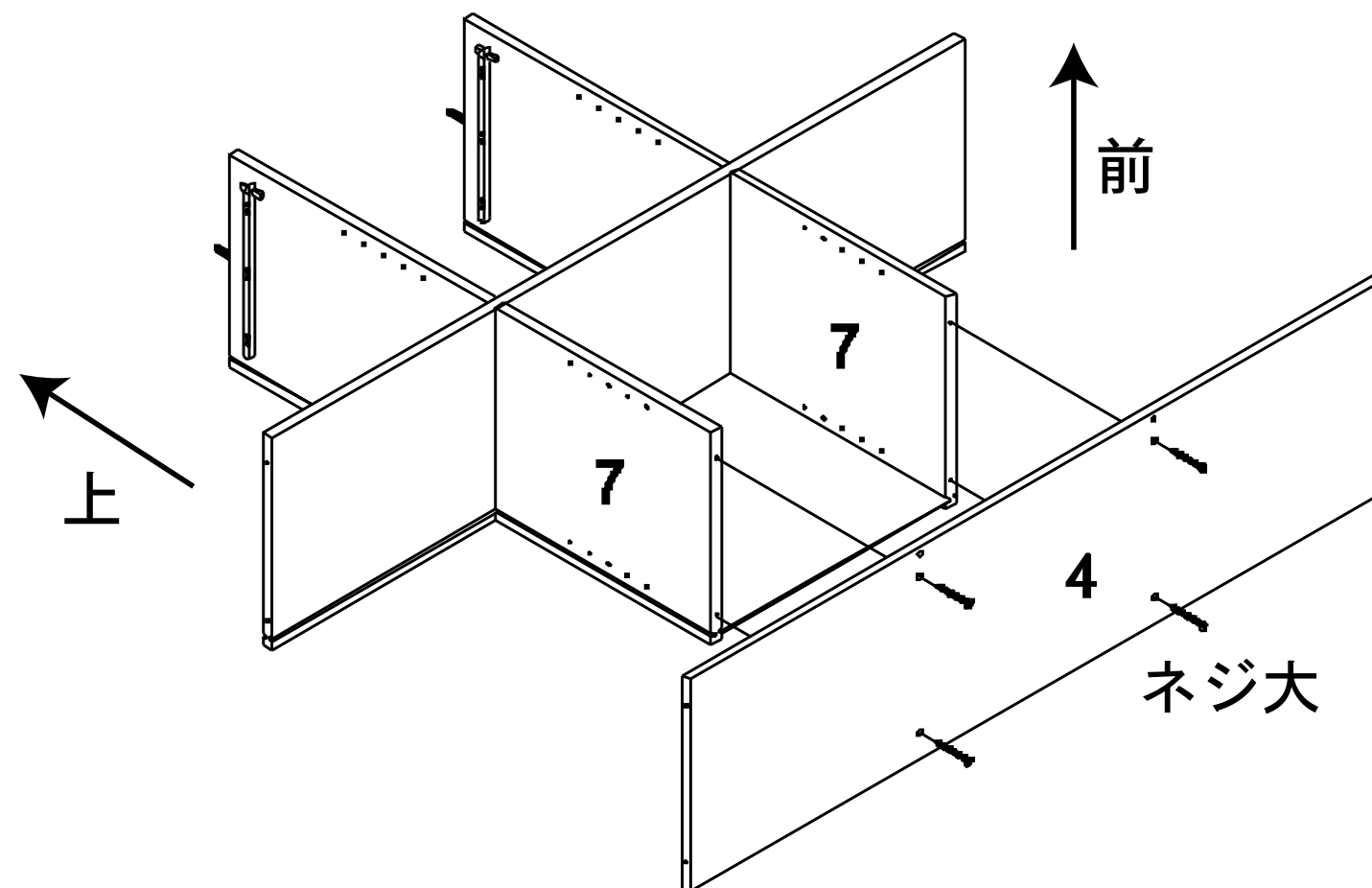
9 続けて、⑤に⑦を木ダボとボンドを使い、図のように組み合わせます。



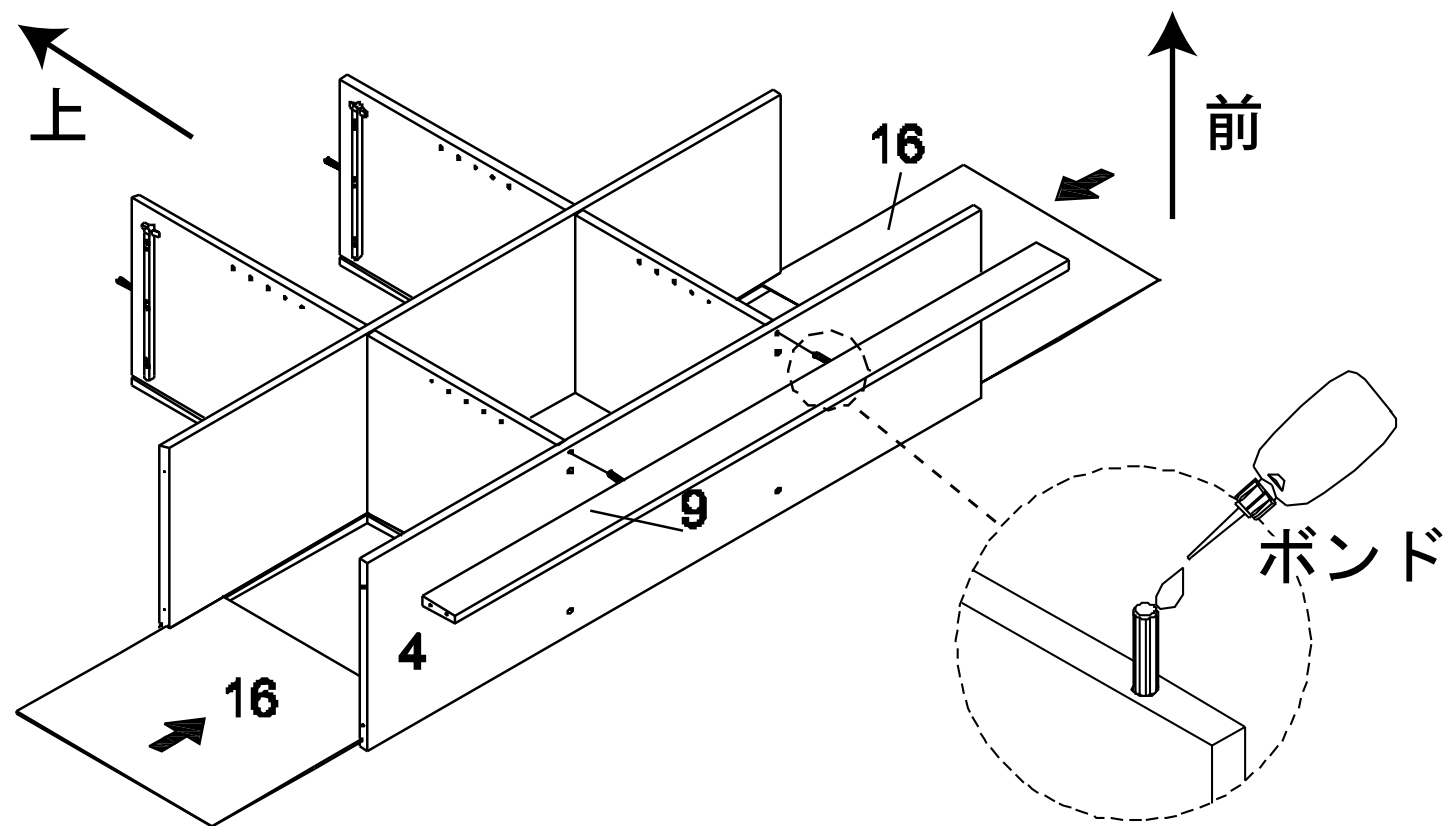
10 パーツ⑬を溝にあわせてしっかりと図のように差し込みます。



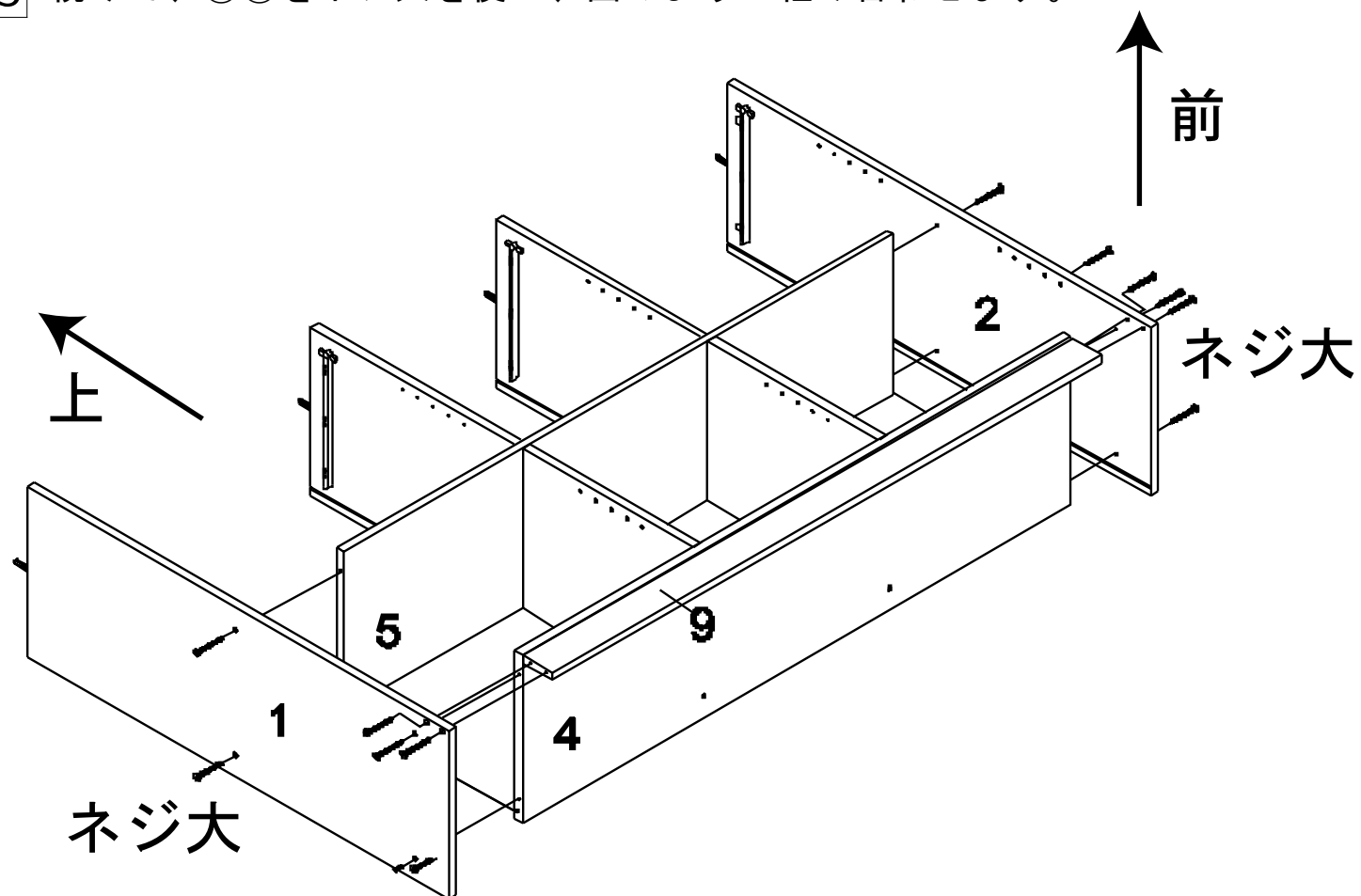
11 パーツ④をネジ大を使い、図のように組み合わせます。



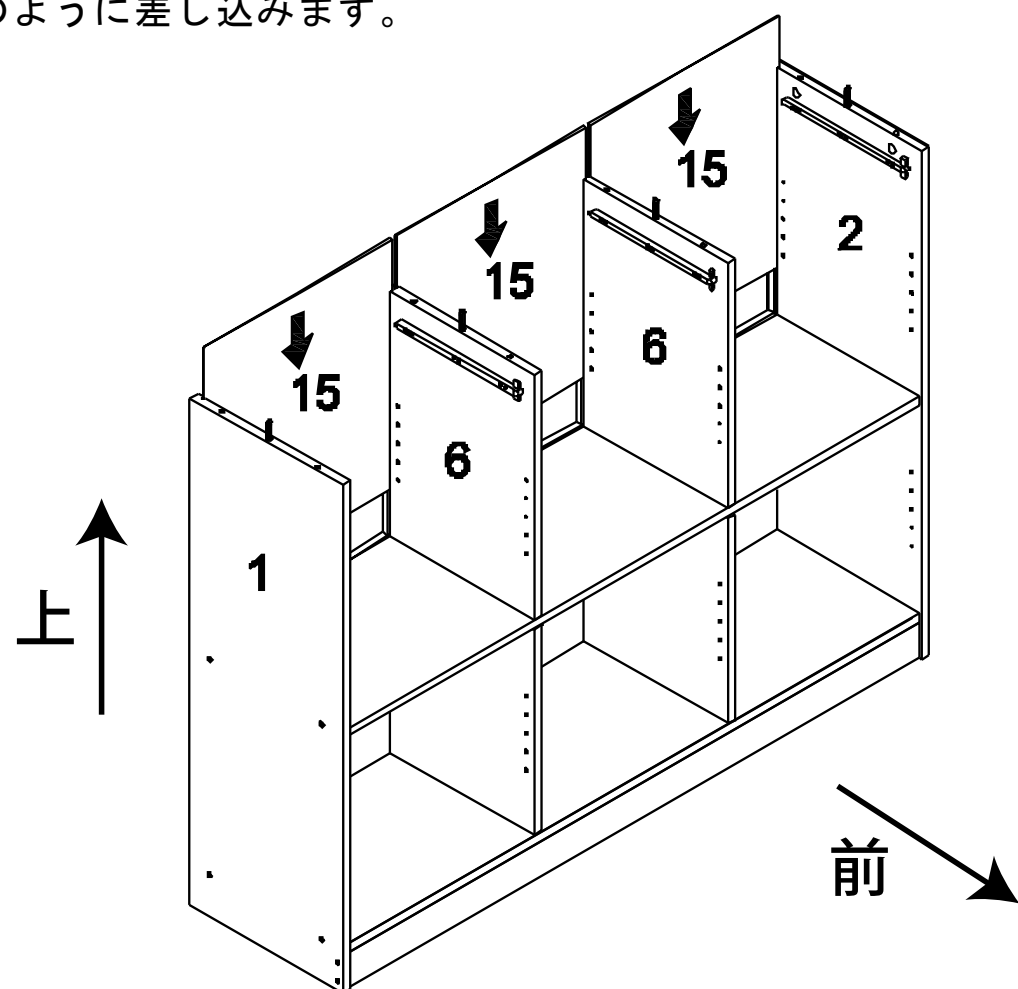
- 12 図のようにパーツ④に、⑨をボンドを使い、組み合わせ、⑯を溝にあわせてしっかりと差し込みます。



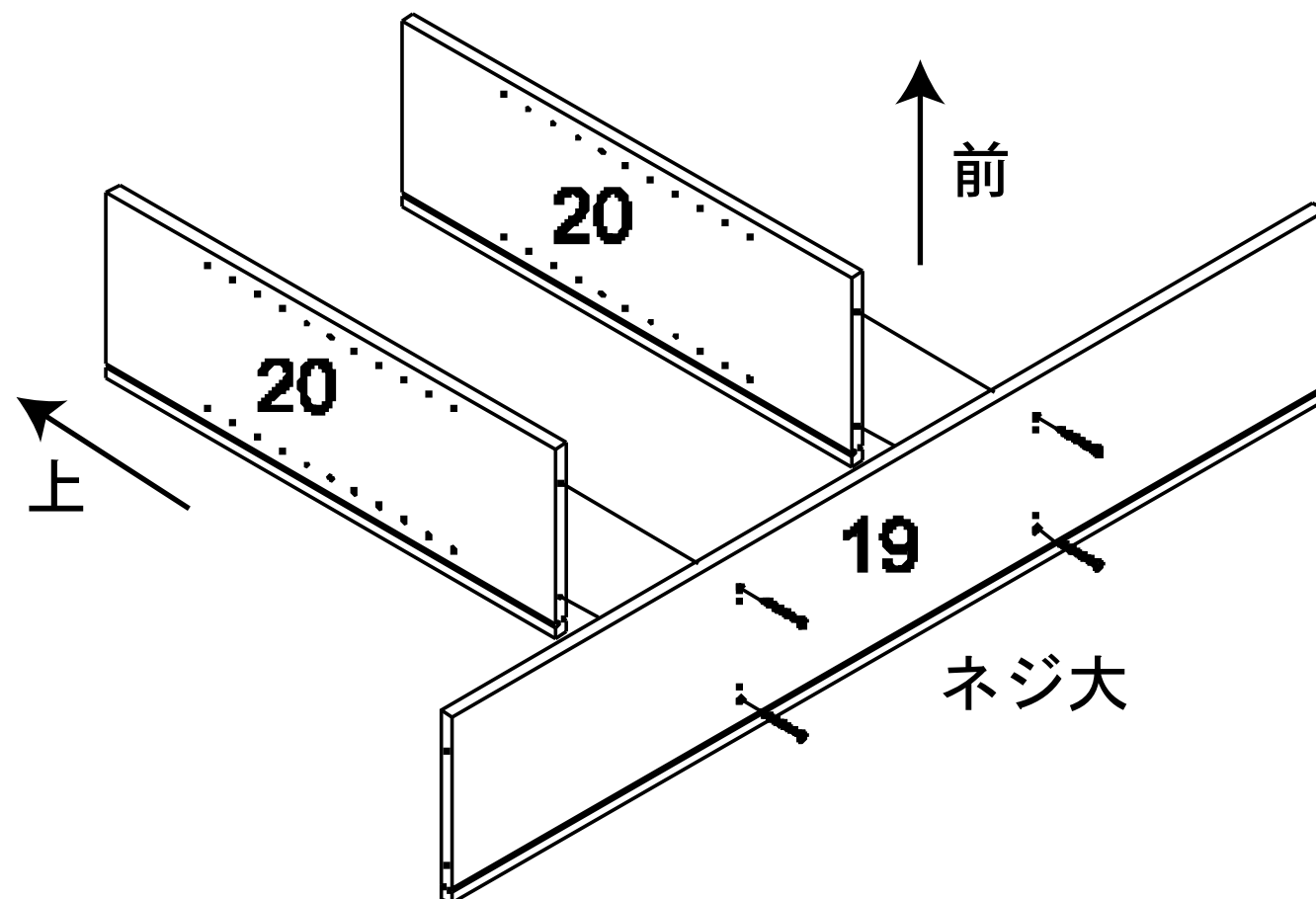
- 13 続けて、①②をネジ大を使い、図のように組み合わせます。



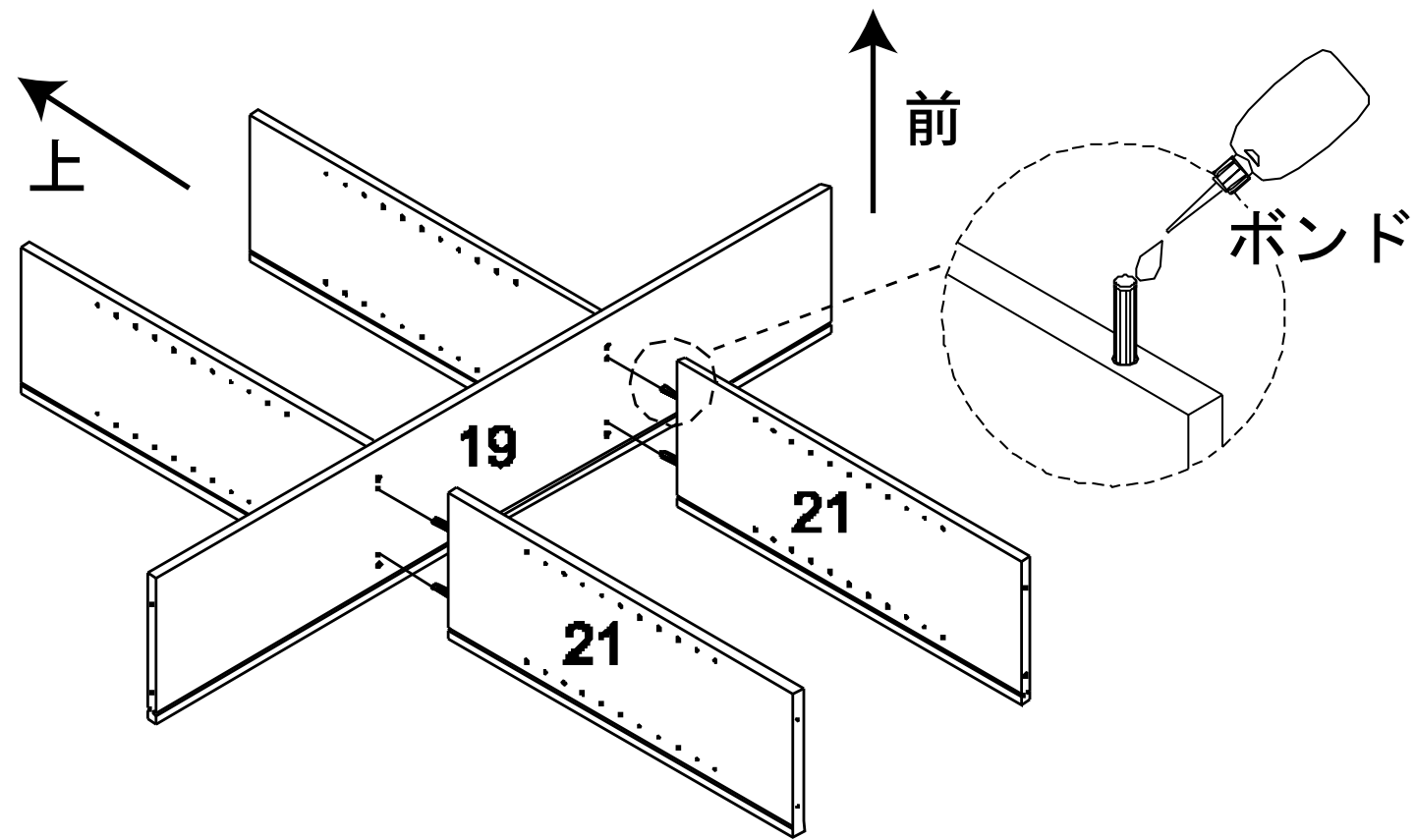
- 14 本体を起こし、パーツ⑬を溝にあわせてしっかりと図のように差し込みます。



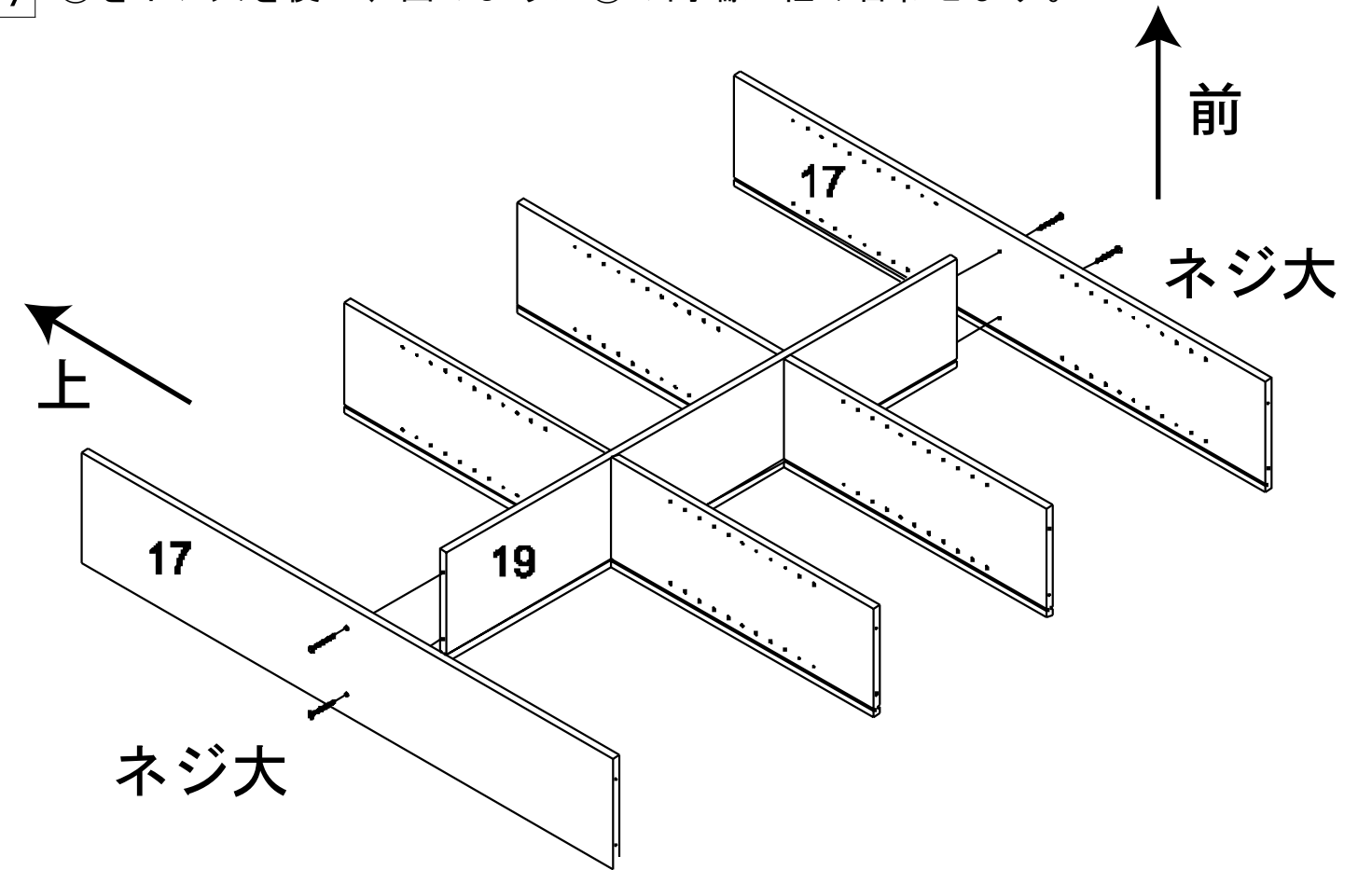
- 15 続けて、パーツ⑱と⑳をネジ大を使い、図のように組み合わせます。



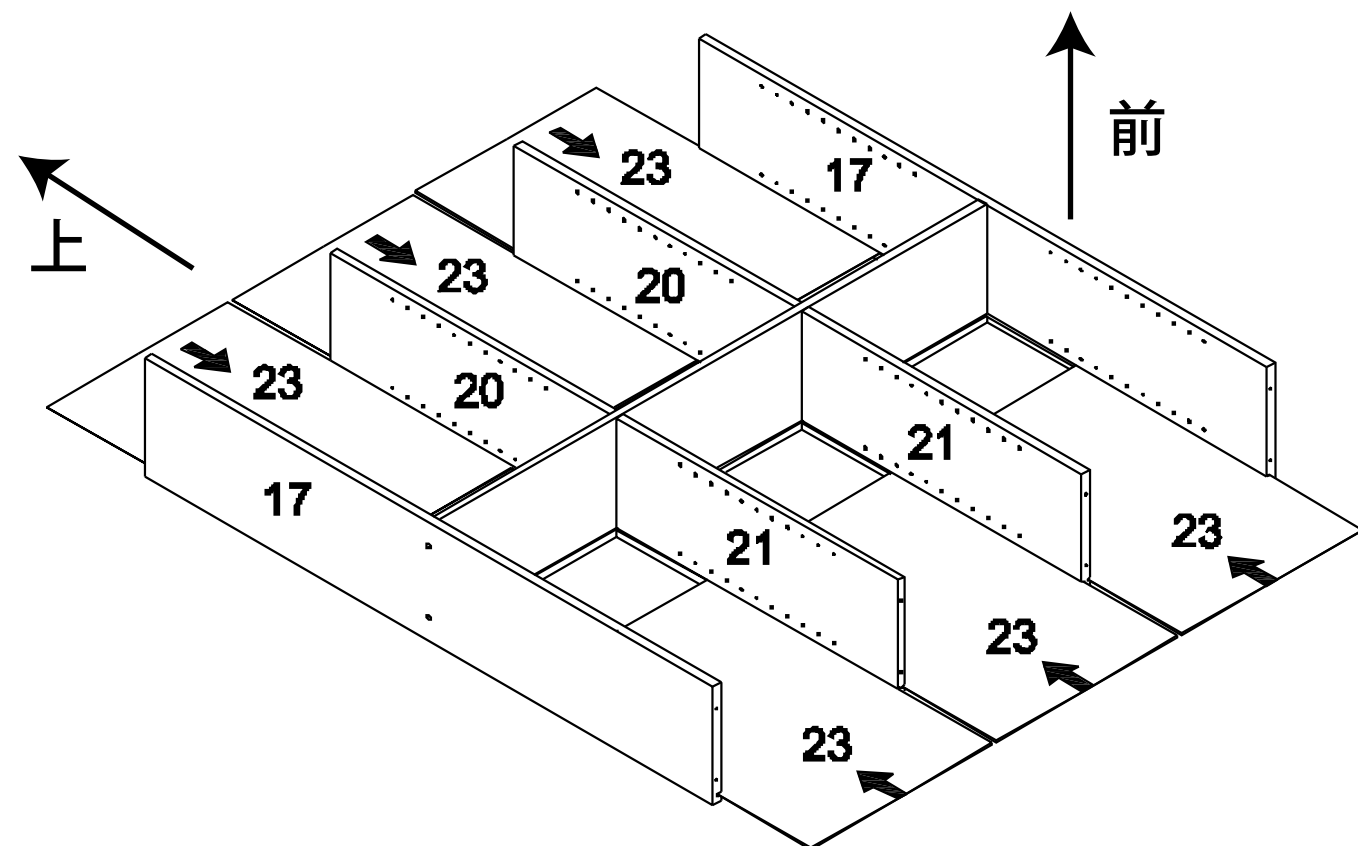
16 続けてパーツ⑳を、㉑にボンドを使い組み合わせます。



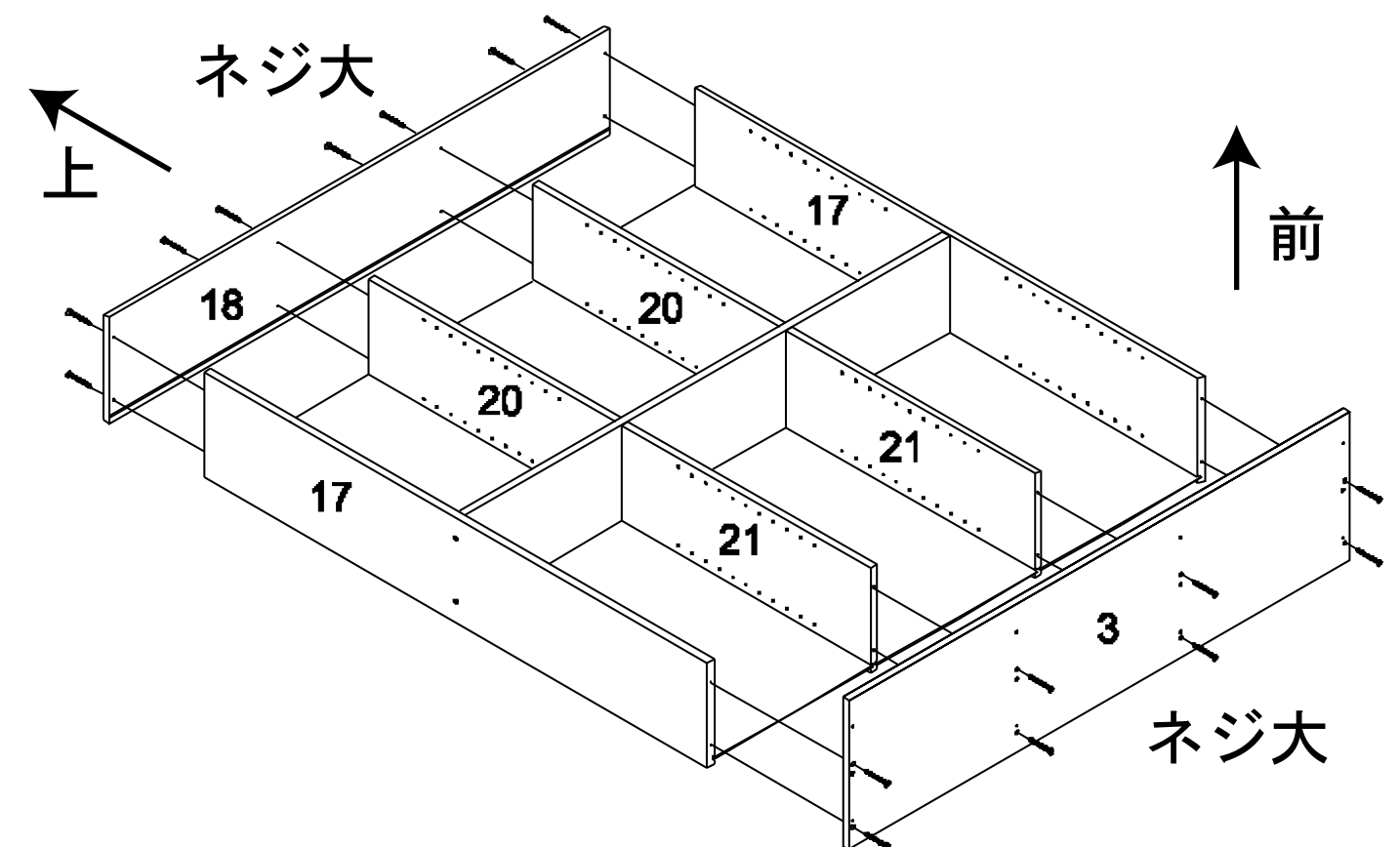
17 ㉑をネジ大を使い、図のように㉑の両端に組み合わせます。



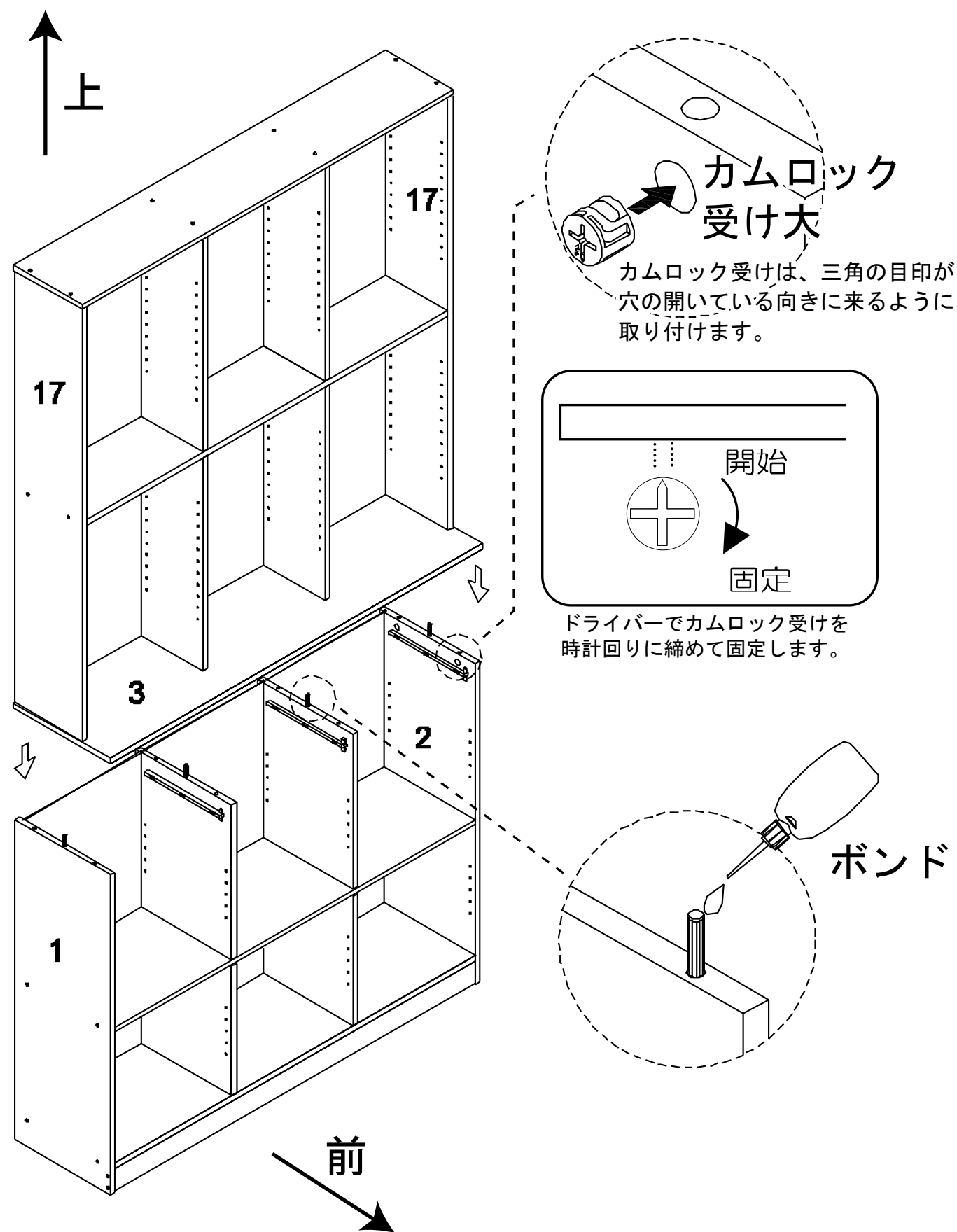
18 パーツ㉓を溝にあわせてしっかりと図のように差し込みます。



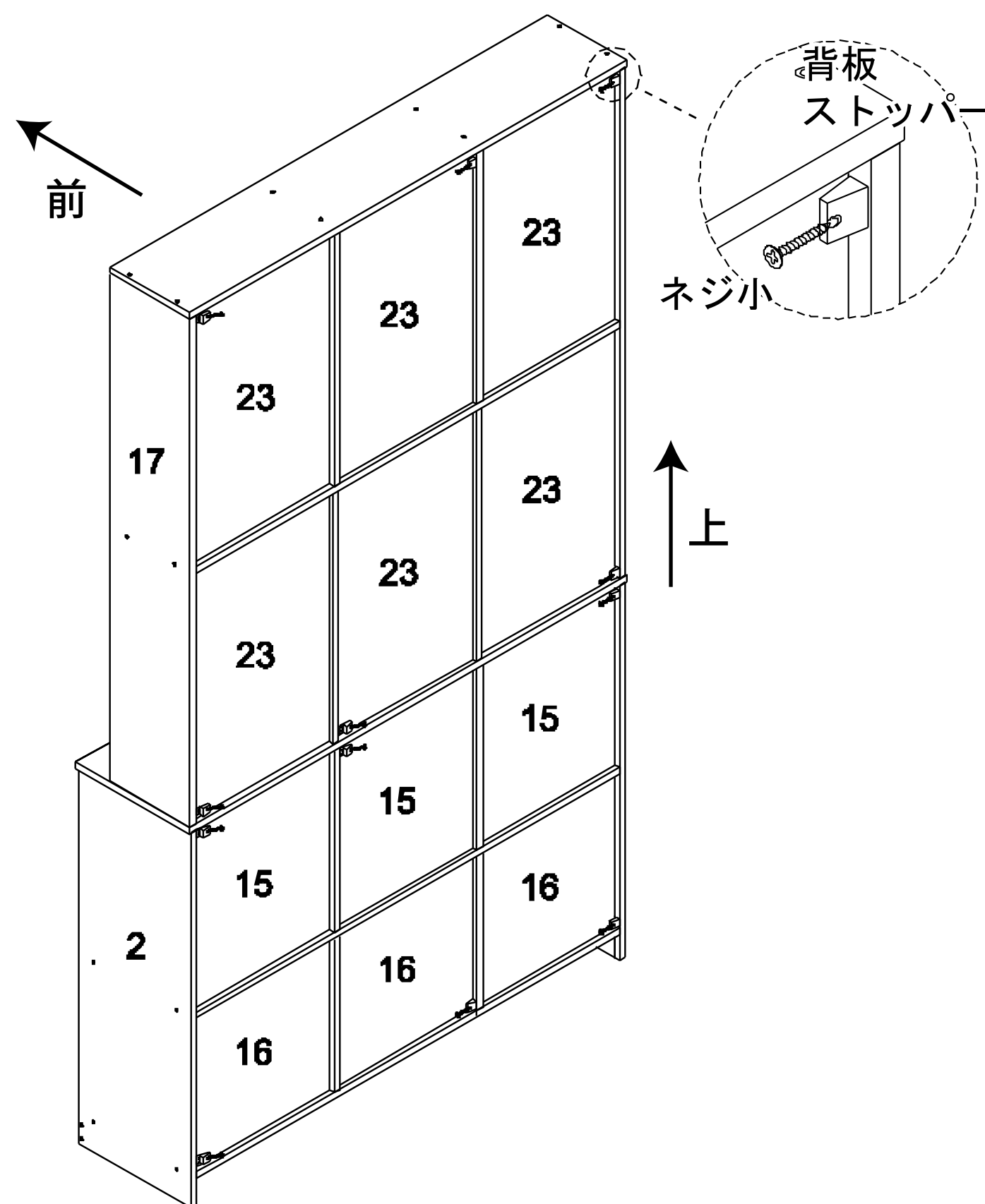
19 続けて、パーツ③と㉑をネジ大を使い、図のように組み合わせます。



- 20 図のように  
工程14で組み上げた本体の両端内側にカムロック受け大を取り付け、  
工程19で組み上げた棚とカムロックボルトにあわせて組み合わせます。

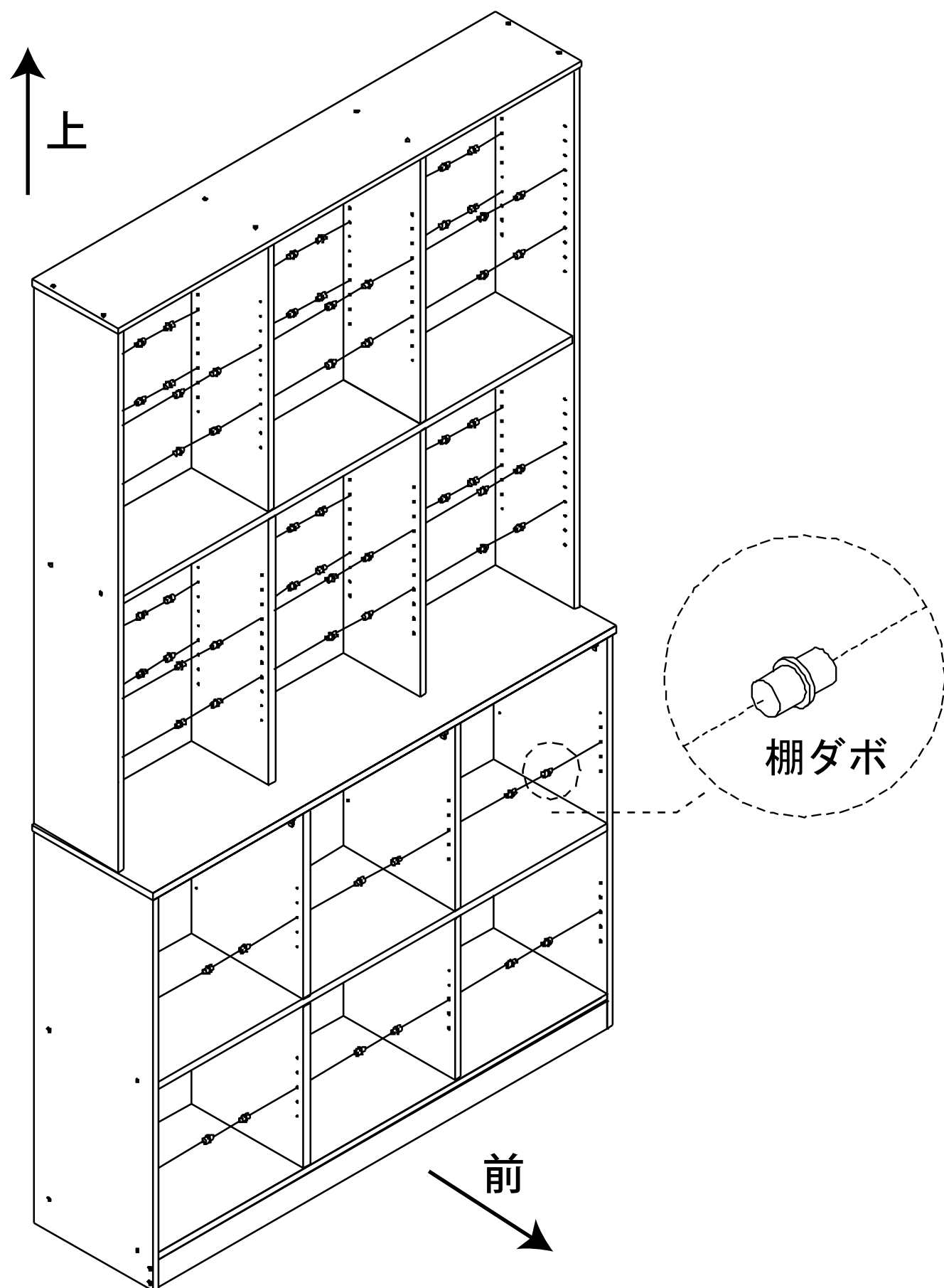


- 21 背板の隙間に背板ストッパーを差込み、ネジ小で取り付けます。

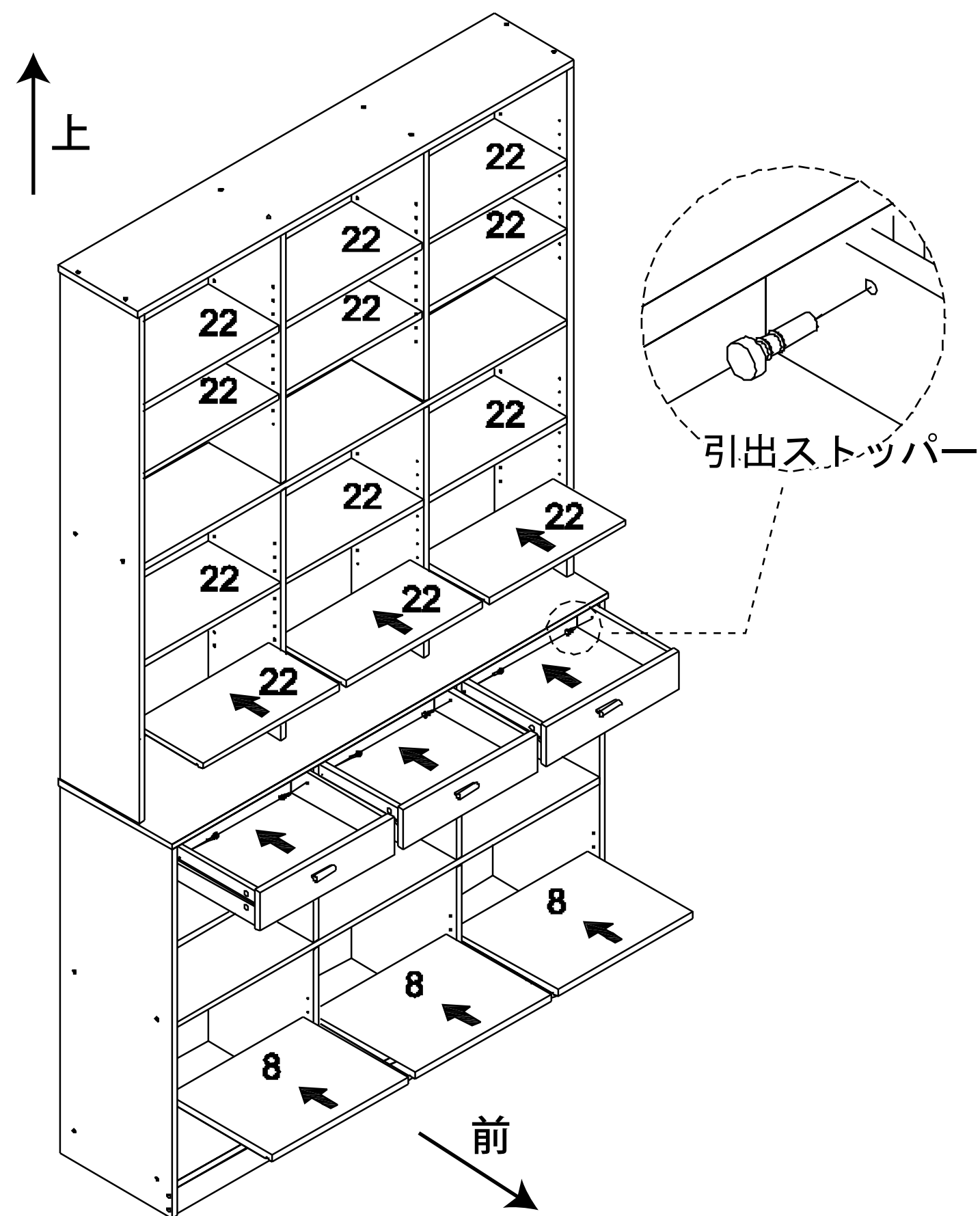




22 本体内側に棚ダボをお好みの位置に取り付けていきます。



23 棚ダボを取り付けた箇所にパーツ⑧⑳をのせていきます。更に作成しておいた引出を取り付け、図のように内側に引出ストッパーを取り付けます。



24 転倒防止のために、天板に転倒防止バンドをバンド用ネジを使い取り付け、壁に固定させます。

最後にネジ穴部分にネジ隠しシールを貼って完成です。お疲れさまでした！

